

四街道の自然と歴史

松川 裕 (四街道市)

4月28日(木)にSSN(小学校支援ネットワーク)の勉強会が四街道で行われました。SSNは千葉県自然観察指導員協議会の学校支援グループのことで、私たちが行っている小学校や中学校の総合的学習活動をバックアップしてくれております。

年に何回か各地で勉強会を実施しており、今回は、四街道の里山を散策しながら、日頃のそれぞれの活動について情報交換をしようとするものです。県内から学校支援活動に携わっている自然観察指導員の方々24名と、四街道自然同好会の自然観察指導員12名、合計36名が参加しました。市外から多数のベテランの自然観察指導員がお見えになるので、その準備は かなり大変でした。こちら側の体制は市川会長の他、松川、晝間さん、栗山さん、山口さん、鶴田さん、小沢さん等が中心になり、コースの選定、資料の作成、下見など何度か打ち合わせを行いました。コースは当初想定 of 総合公園周辺から、実際に学校支援で使っている山梨古村コース(山梨地区からムクロジの里周辺)に変更致しました。

4/28、10時に旭公民館に集合し、直ぐに山梨地区に入る急な坂(通称タイムトンネル)横の空き地に直行しそこで、オリエンテーションと班分けを行いました。下見の時はタンポポが満開でタンポポ広場と名付けましたが、当日にはブタナ広場に変身していました。近くの畑で発見された縄文土器のかげらを見て貰い、四街道には有名な神社仏閣は無いけれど、3万年前から人類が綿々と住み続けてきた場所であることを説明しました。

タイムトンネルの坂を下ると山梨地区です。ここは道端に沢山の野草が生えています。皆さんが歓声をあげたのはオドリコソウを見たときでした。最近オドリコソウは四街道でも一部の地域でしか見ることができなくなりましたが、ここでは、道端で何か所か見ることができます。また、今回の下見で発見したのですが、カラスノエンドウの他、スズメノエンドウ、カスマグサが一杯咲いていました。ウワミズザクラ、イヌザクラ、そして下見の時にはフクロウの声、オオタカ、チョウゲンボウらしき猛禽も見かけました。地上の食物連鎖の頂点にいる猛禽類がいることは、この地域の生態系がとても豊かな証拠です。

山梨地区で我々が縄文の丘と呼んでいる場所からは、なんと黒曜石らしき「かけら」も見つかります。縄文土器、黒曜石、そしてオドリコソウ、フクロウ、オオタカ、素晴らしい自然が残っていますね。田んぼでシュレーゲルアオガエルの可愛い鳴き声が聞こえたので、目を凝らすと、その卵塊も浮かんでいました。ニリンソウの群落地を見て、ムクロジの里に着きました。大人数を連れていく場合はトイレが問題ですが、前日に有志の方々が、トイレの整備、清掃をし、何とか使えるようにしました。ムクロジの里も皆さんの努力により実にのんびりとした、安らぎ感のある空間になりましたね。

ゆっくりとお弁当を食べ、再度、別ルートで山梨地区に入りました。キンランが咲き、ジューニヒトエも道端で歓迎してくれました。予定通り14時過ぎに旭公民館に到着、反省会のあと解散しました。穏やかな春の日差しのもと、とても勉強になった観察会でした。

